

ゴーヘッドズ 速報

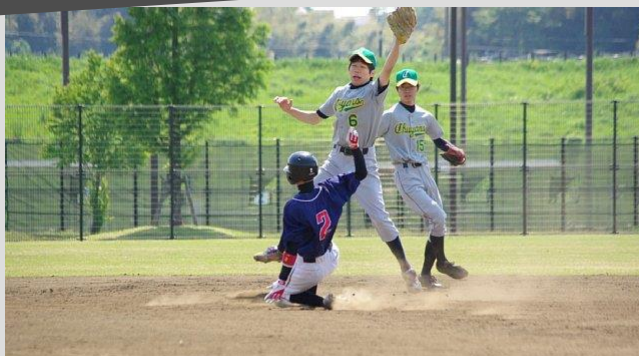
Goaheads

第7号 平成25年5月5日

暢造の補殺が追加点を防ぐ！

守備の乱れは敗戦に繋がる・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
C	0	3	0	1	0	0	0	4
G	1	0	0	0	0	0	0	1



5/5(日)今期のVictoriaが開幕、新横浜公園野球場に出向き、Cyuyansとの初戦を迎えた。相手チームは若いので、前半に先制と行きたい今日のゲームである。そのゲームの先発を任せられたのは光希、13:09にプレイボールとなった。その立ち上がり、4球で空三振を奪取する幸先の良い立ち上がり、後続も2球で斬り、この回8球で三者凡退とした。ゲームが動いたのはその裏の攻撃、先頭が倒れ一死となったが、続く二番智がストレートの四球で出塁、続く光希の打席で二盗塁を決める。そして、光希がきっちり右に進塁打、これで場面は二死三塁と先制の機を迎える。そして続く四番祐太朗の放った打球は詰まった三塁ゴロ、これを相手サードがファーストに送球をエラー、この間に劣せず先制を挙げた。そして、祐太朗がデレイドスチールを決め、二死二塁としたが、後続が続かずこの回は1点止まりとなった。しかし、後にも先にも、以降は出塁する事すら出来ずに14:29ゲームセットで完敗、今期最短時間のゲームであった。

翌二回の相手攻撃、この回先頭打者にレフト頭上を越される3ベースを打たれる。しかし、次打者を投ゴロに斬り一死三塁、動いてくる場面だが、やはりきっちりスクイズを仕掛けられ、1点を失点、が、この打球処理のモタモタ間に出塁を許す、次打者の打球も打ち取った打球だが、野手がバウンドを合わせ損ね、これまた出塁、次打者の打球は、センターに抜ける高いバウンドの打球だった。これをショートが捕球し一塁に送球したが、失策しこの間に一挙二塁よりホームインされ二点目。更には、先程のプレーで進塁していた三塁ランナーが9番バッターの時のWPでホームインし、守備の乱れで三点を献上し逆転を許した。四点目は四回、この回先頭打者を四球で出塁させ、その後二盗を決められる。次打者の時にWP、その次の打者の時にPBでこれまた守備から失点をし、今日のゲームを敗戦という形で終えた。

今日のゲームを振り返ってみると、やはり守備の乱れが一番の敗戦の要因であろう。

我がチームは幸いにも、アップが出来る環境がある。なので、アップの時の守備練習は、練習のための練習ではなく、本番で使える、使うための練習にして欲しい。また打撃は水ものだが、これまた、アップの時の打席も自身でテーマをもって、取り組んで欲しい。気持ち良く振るのも重要だが、練習で芯を喰う事が出来なければ、本番では毛頭出来ないであろう。

但し、今日の成果とすれば、初回に叩くバッティングが得点に繋がれたのは、一皮向けた我がチームと評価しても良いだろう。残念ながら、リーグ初戦は黒星発進となったが、気持ちを切り替え、二戦目に望んで行こう。昨年この二の舞は皆も嫌だろうから！